

## 第7回 NPO法人会計講座

令和元年10月

こんにちは、宮崎県生活・協働・男女参画課です。

突然ですが！！ 今回は、これまでの6回分の講座を踏まえた確認を行います。

### 【第1問】

貸借対照表と損益計算書の図についてA～Dを埋めてください。

貸借対照表		損益計算書	
(Aの部)	(Bの部)	(Cの部)	(Dの部)
	(純資産の部)	(利益)	



A : \_\_\_\_\_  
B : \_\_\_\_\_  
C : \_\_\_\_\_  
D : \_\_\_\_\_

### 【第2問】

仕訳を行う際、次の事項は、左になるでしょうか？ 右になるでしょうか？  
(図を思い出してください。)

- ① 資産が増える場合 ( 左 / 右 )
- ② 負債が増える場合 ( 左 / 右 )
- ③ 負債が減る場合 ( 左 / 右 )
- ④ 収益が発生した場合 ( 左 / 右 )





【回答と解説】

第1問

(回答) A : 資産、B : 負債、C : 費用、D : 収益

(解説) 下の図のとおりとなります。

貸借対照表		損益計算書	
(資産の部)	(負債の部)	(費用の部)	(収益の部)
	(純資産の部)	(利益)	

第2問

(回答)

- ① 資産が増える場合 → 左
- ② 負債が増える場合 → 右
- ③ 負債が減る場合 → 左
- ④ 収益が発生した場合 → 右

(解説)

第1問の解説の図と見比べながら次の表を御覧ください。

資産は左側	資産が増える場合 → 左側
	資産が減る場合 → 右側
負債は右側	負債が増える場合 → 右側
	負債が減る場合 → 左側

収益は右側	—
	—
費用は左側	—
	—

### 第3問

- ① 100,000 円の車両を購入し現金で支払った。

(回答) 車両運搬具 300,000 / 現金預金 300,000

(解説) 車両運搬具は「資産」で、購入により増加するので「左」  
現金は「資産」で、支払いにより減少するので「右」となります。

↑  
前問までの解説も御参照ください。

- ② 従業員の5月分の給与100,000円を現金で支払った。

(回答) 給与手当 100,000 / 現金預金 100,000

(解説) 給与手当は「費用」で、費用が発生したので「左」  
現金は「資産」で、支払いにより減少するので「右」となります。

- ③ 大型取引が成立して、500,000円売り上げた。(代金は掛(かけ)としている。)

(回答) 売掛金 500,000 / 売上 500,000

(解説) 売掛金は「資産」で、増加するので「左」  
売上は「収益」で、収益が発生したので「右」となります。

- ④ ③の掛代金が、全額振り込まれた。

(回答) 現金預金 500,000 / 売掛金 500,000

(解説) 現金は「資産」で、増加するので「左」  
売掛金は「資産」で、回収により減少するので「右」となります。

⑤ ひむか銀行より 50,000 円借り入れた。

(回答) 現金預金 50,000 / 借入金 50,000

(解説) 現金は「資産」で、借り入れたことにより増加するので「左」  
借入金「負債」で、今回の借り入れで増加するので「右」となります。

⑥ ⑤の借入金に対する利息 400 円を銀行に支払った。

(回答) 支払利息 400 / 現金預金 400

(解説) 支払利息は「費用」で、費用が発生したので「左」  
現金預金は「資産」で、今回の支払いで減少するので「右」となります。

⑦ NPO法人藤原会に 5,000 円の寄附を行った。

(回答) 支払寄附金 5,000 / 現金預金 400

(解説) 支払寄附金は「費用」で、費用が発生したので「左」  
現金預金は「資産」で、今回の支払いで減少するので「右」となります。

いかがでしたか？

分からなかった場合は、第6回までの内容をもう一度御確認ください。

今回の第7回までを振り返りますと・・・

その① 法人が取引を行ったら必ず仕訳を行う

↓

その② 仕訳をおこなうにあたっては、必ず「貸借対照表項目」と「損益計算書項目」のどちらかに分別されて、貸借対照表か損益計算書に流れる。

↓

その③ その②の仕訳の蓄積により「貸借対照表」と「損益計算書」が作られる  
(貸借対照表は、健康診断表のイメージ)  
(損益計算書は、通知表のイメージ)

この3点について、「ほわっと」でもイメージできればここまでは大成功です。

では、お疲れ様でした！！